

① 自然

にじ 虹のしずく



しずくいしちやう 雫石町には、どんな自然が
あるかな。



しずくいしけ ひと 雫石家の人びと



お父さん



お母さん



お兄ちゃん



わたし



弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちやうきやういっく い いんかい
雫石町教育委員会

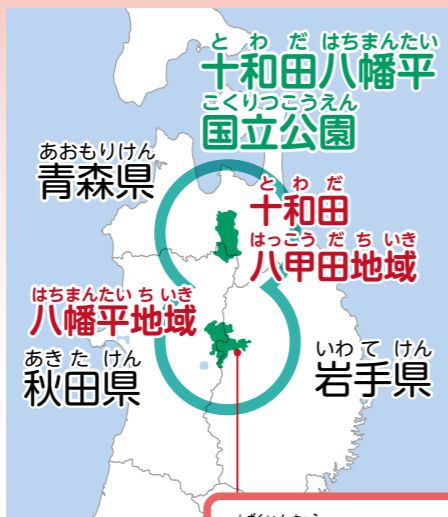


こくりつこうえん いりぐち 国立公園の入口

しずくいし

いわてさん 岩手山とそのめぐみ

しずくいし ちやうない こくりつ
栗石の町内に国立
公園があるのを知っ
ているかな。



しずくいしちやう とわだはちまんたいこく
栗石町は、十和田八幡平
国立公園の八幡平地域への入
りぐちにあたります。
いわてさん げんぶどう かつこんだ
岩手山、玄武洞、葛根田
けいこく とりごえ たき あみはりおんせん
溪谷、鳥越の滝、網張温泉や
たきのうえおんせん こくりつこうえん
滝ノ上温泉は、この国立公園
にふくまれています。



しずくいしちやう
栗石町はちょうど
このあたりね。



なつ 夏になると、「網張の
もり 森」ではヒメボタルを
み 見ることができるよ。



Amihari
visitor center



あみはり もり
「網張の森」のシンボ
ルマークはモモンガ。
ほかにたくさんの
いきもの 生き物がいて、季節
ごとくにいろんな自然
たいけん 体験ができるぞ。

とわだはちまんたいこくりつこうえん
十和田八幡平国立公園について調べてみよう。

かんきやうしやう
▶環境省ウェブサイト
とわだはちまんたいこくりつこうえん
十和田八幡平国立公園のページ



とわだはちまんたいこくりつこうえん ぜんこく
十和田八幡平国立公園は全国で
ゆうすう 最も 有数の火山地域。県でいちばん
たか やま いわてさん 高い山、岩手山は、八幡平地域を
だいりやう 代表する火山でもあります。

いわてさん ぜんぶ
岩手山には全部で
7つの登山道があっ
て、そのうち2つの
いりぐち 入口が栗石にある
んだ。



しずくいし おんせん おお
栗石に温泉が多い
のは、火山があるか
らなのねえ。



かつこんだ おく とりごえ
葛根田の奥にある鳥越
の滝です。こうした地形
も、まわりのあちこちで
じやうき 出ている蒸気も、すぐ上流の
たきのうえおんせん 滝ノ上温泉も、火山のはた
らきでできたものです。

まえい
この前行ったスノー
シューハイキング
の写真好だよ。
ゆき なか
雪の中でも、もう
すぐ春というしる
しがたくさんあっ
たよ。



もうすぐ春というしるし
ねびら 根開き。日光をあびた木
の幹が熱をもち、まわりの
ゆき 雪が解けはじめています。

あみはり
網張ビジターセンターについてはこちら。

あみはり
▶網張ビジターセンターウェブサイト
「ようこそ 網張ビジターセンターへ!」



ゆたかなもりきれいな水

きれいな水があるしるし①

山と森が生むきれいな水

しずくいしのきれいな水は、山々と豊かな森、そこにふる雪のおかげです。「滴石たんたん（雫石神社のわき水）」のほかに「岩手山神社のわき水」や、「玄武のわき水」そして「ひかげの水」が環境省の「代表的な湧水」に登録されています。



「しずくいし」という名前が「滴石たんたん」からきているのはみんな知っているかな。

火山のめぐみ

きれいなわき水があり、岩手山をはじめとした火山があるために、国見温泉、鶯宿温泉、網張温泉、御所湖温泉、南網張ありね温泉、橋場温泉、滝ノ上温泉、玄武温泉、岩手高原温泉、雫石倉温泉とたくさんの温泉があります。「雫石十四景」にある「鶯宿温泉の逢滝・夕滝」「御所湖の矢櫃の溪流」「千沼ヶ原湿原」「葛根田溪谷と玄武の大岩屋」「滝ノ上温泉 鳥越の滝」なども、水と山があつてこそその景観です。



御所湖の自然

御所湖は、洪水調節・利水・上水道・発電のために計画され、1981（昭和56）年に完成した御所ダムによってできた湖です。御所湖とそのまわりは県立の御所湖広域公園になっています。

雫石の西にある秋田駒ヶ岳



国見温泉



湖になる前は何かあったのかな。

小岩井農場の池にもいるんだけど、最近では外来種のアメリカザリガニにオタマジャクシが食べられてしまつて、数が減っているんだって。

この写真は多賀神社の姥木。樹齢は1,500年以上なんだって。



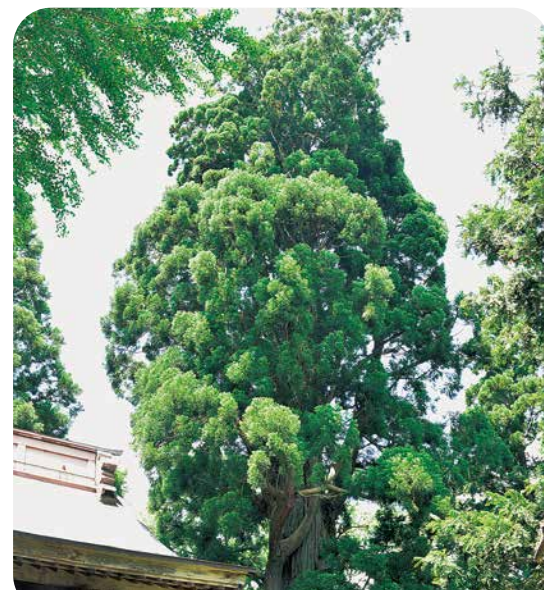
モリアオガエル

日本にしかない、森でくらすカエルです。6月ごろ湖や沼に集まり、水の上にせり出した木の枝や草などで粘液を泡だて、そのかたまりの中に卵を産みつけます（左）。卵から生まれたオタマジャクシは、泡といっしょに下の水に落ち、泳ぎはじめます。町内では、白沼のモリアオガエル繁殖地が県指定天然記念物になっていて、モリアオガエルが卵を産みつけるころには、泡のかたまりで木々が満開の花をつけたような美しい光景を見ることができます。



町の木「杉」

山祇神社の姥杉、多賀神社の姥木、雫石神社の杉、岩手山神社の夫婦杉が町の天然記念物になっています。



しずくいしの自然



岩手山



みんなの家はどのあたりかな。
通学路はどこを通っているかな。
自分でも「しずくいしマップ」をつくってみよう。



栗石川園地の桜並木は「栗石十四景」のひとつ。
それぞれこの風景かわかるかな。

栗石川園地の桜並木



町の花「菊」をはじめ、栗石川園地の桜並木、小岩井農場の一本桜、七ツ田の弘法桜、あじさいロードや菜の花畑など、きれいな花がたくさんあります。

きれいな水があるしず②

チョウセンアカシジミ

羽をひろげたときの大きさが約3.5センチメートル、オレンジ色をしたとてもきれいなチョウで、日本では、岩手県・山形県・新潟県のごく一部で見られます。

夏にデフノネリコの木に産みつけられた卵はそのまま冬を越し、4月の終わりごろにふ化します。幼虫はデフノネリコの葉を食べて育ち、6月ごろに石や落ち葉の下でサナギになり、7月はじめごろに羽化して成虫になります。成虫はそれから3週間のうちに卵を産み、一生を終えるのです。

チョウセンアカシジミは町指定の天然記念物になっていて、御明神小学校では観察活動が続けられています。

デフノネリコは、湿地や沢筋などの日当たりのよいところでよく育ちますから、きれいな水辺が増えれば、もっとたくさんのチョウセンアカシジミが見られるようになるかもしれません。

童話『おきなぐさ』『山男の四月』などに「七つ森」が、『狼森と笹森、盗森』に「狼森」が登場するよ。



イーハトーブの風景地の1つ「七つ森」



県内には宮沢賢治にちなんで国指定の名勝「イーハトーブの風景地」が7か所ありますが、栗石にはそのうちの2か所「七つ森」と「狼森」があります。

- 栗石高等学校
- ★ 栗石中学校
- 栗石小学校
- ▲ 七ツ森小学校
- ◆ 御明神小学校
- ▼ 御所小学校
- 西山小学校

栗石十四景 (2016(平成28)年決定)

- ▶ 小岩井農場の一本桜と岩手山
- ▶ 生森山(七ツ森)からのパノラマ
- ▶ 栗石川園地の桜並木
- ▶ 鶯宿温泉の逢滝・夕滝
- ▶ 御所 矢櫃の溪流
- ▶ 御所街道の男助山と女助山
- ▶ 橋場街道 舟原の紅葉
- ▶ 残雪の駒ヶ岳
- ▶ 国見温泉と鹿倉橋の紅葉
- ▶ 千沼ヶ原湿原
- ▶ 葛根田溪谷と玄武の大岩屋
- ▶ 滝ノ上温泉 鳥越の滝
- ▶ 長山街道の弘法桜
- ▶ 網張温泉 犬倉の冬景色

しずくいしの自然をうけつぐ

オキナグサの花



うずのしゅげを知っていますか。
うずのしゅげは、植物学ではおきなぐさと呼ばれますが、おきなぐさという名はなんだかあのやさしい若い花をあらわさないようにおもいます。

これは宮沢賢治の童話『おきなぐさ』の最初の部分だよ。



それは小岩井農場の南、あのゆるやかな七つ森のいちばん西のはずれの西がわでした。かれ草の中に二本のうずのしゅげが、もうその黒いやわらかな花をつけていました。

オキナグサの種



これも童話『おきなぐさ』から。賢治にとってオキナグサは身近な花で、風によって飛んでいく種のようなもえがいているよ。

オキナグサを育てる—七ツ森小学校—



もりおかこうとうのうりんがっこうに通っていた宮沢賢治は、農業実習のたびに七つ森のふもとを通っていました。

そのころ、オキナグサはよく見られる植物だったのですが、最近では数が減り、絶滅が心配されています。

七ツ森小学校では、童話『おきなぐさ』にちなんで「雫石と宮沢賢治を語る会」の人たちとともに、校内にある「おきなぐさ園」にオキナグサを植え、育てています。

賢治も大好きだった雫石の自然をリレーしていけるかどうかは、今のわたしたち次第だね。

さんぎょう ②産業

にじ 虹のもとのいいとなみ



しずくいしちょうでは、どんなひとたちが、何の仕事をしているんだらう。

しずくいしけ ひと 霰石家の人びと



お父さん



お母さん



お兄ちゃん



わたし



弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちょうきょういく いんかい 霰石町教育委員会



おばあちゃんが野菜を売っている軽トラ市ね。

おもしろ～モンがあるかもよ



もう一度、町を元気にしずくいし軽トラ市

2005(平成17)年7月に始まった「しずくいし軽トラ市」は「農家の軽トラに新鮮な野菜などをのせて売れば、人が集まるのでは」というアイデアから生まれました。

5～11月の第一日曜日、午前9時から午後1時まで、よしゃれ通りには50台ほどの軽トラ屋台が並び、2019(令和元)年には年7回で約3万1,700人のお客さんが集まりました。

しずくいし軽トラ市実行委員会委員長 **相澤潤一さん**
 たくさんのお客さんに来てもらえるようになるまで、道路の使用許可をえたり、まわりのお店に協力したのんだりしたいへんなこともありました。今、軽トラ市はいろんな町・村にとって「まちおこしの見本」になり、遠くから見学にくる人も多くなります。



だいいちちようび 第一日曜日は給料日の後だから買い物しやすいし、1時で終わるから、ほかの場所にも行けるよね。



自然の中でのものづくり 鉄瓶工房高橋

雫石に工房を開いたのは、自然の中でのものづくりができるから。雫石は、南部鉄器をつくるのに必要な鉄・うるし・木炭・粘土・砂の5つが手に入りやすい土地なのです。材料の鉄は、むかしは県内の川でとれる砂鉄を使っていました。最後の仕上げの色づけに使ううるしは県北が産地ですし、燃料である木炭も町内や県北でつくられています。鋳型をつくるときに使う粘土はおとなり紫波町のものを、砂は雫石川や葛根田川でとってきた川砂を使っています。



なに何をしているところだろ。

けん 県で伝統工芸品「南部鉄器」の1つ、南部鉄瓶をつくっているんだ。とけた鉄を流しこむ「鋳型」をつくっているところだなあ。



もり 森のてつびん屋 鉄瓶工房高橋 **高橋大益さん**
 ものづくりのおもしろさは「今までこの世になかったものを生み出すこと」です。このおもしろさを、ぜひ子どもたちに伝えたい。これをたくさんの子供たちが経験して、おもしろさに気づいてくれたらいいな、と思っています。



とうけい 統計データから産業別の人口を調べてみよう。



雫石町ウェブサイト 統計データのページ

しずくいしの商業や製造業

雫石の時計が世界に! 盛岡セイコー工業株式会社

世界最高レベルの腕時計「グランドセイコー」をつくっています。グランドセイコーの哲学「THE NATURE OF TIME」は自然の中で感じる「時」と「時」の本質を追求する匠の姿を表現していて、このリーフレット表紙にある岩手山をイメージした文字盤の時計や、雫石川の流れをイメージしたムーブメント(時計の機械部分)など、雫石の自然の美を活かした製品もあります。リス、カモシカ、ノウサギなどさまざまな動物がくらす敷地内の自然林を守る取り組みも行い、自然との共生の中でのものづくりを続けているのです。



こうじょう 工場が雫石にあるのは、自然に恵まれ、暮らす人たちが責任感が強く細かい作業にむいているから。創立50周年にできた「グランドセイコースタジオ 雫石」には、工房やいろんな時計の展示があるよ。



げいしこうじょう 雫石高級時計工房 **矢田森裕太さん**
 この会社を選んだのは、高校生のインターンシップ(職業体験)でここに来て、雫石で時計づくりをしていることと、職人さんの技術におどろいたのがきっかけです。今はムーブメントをケースに収める工程の担当で、美しい文字盤、針の輝き、ムーブメントを最大限楽しんでいただけるように、技術をみがいています。

やたもり 矢田森さんは雫石高校の先輩で、技能五輪に出場したり、時計修理の全国大会で準優勝したりしているんだよ。



水と気候が生むおいしさ 株式会社宮田醤油店

1904(明治37)年、盛岡で創業した株式会社宮田醤油店は、1997(平成9)年に営業本部と工場を雫石に移しました。雫石を選んだ最大の理由は「水」。雫石の水を使うと、豊かな香り・濃厚なうまみを感じられる本当においしい「キボシ醤油」ができるのです。めんつゆ、焼肉のたれなどさまざまな製品もつくっています。観光客など県外からも多くのお客さんがキボシの醤油を買いに来ます。雫石でしかつけないおいしさは、県内外に広がっているのです。



ほんじょう 本醸造醤油の原料は、豆・麦・塩・水だけ。水は本当に大事なんだねえ。



わたしは職場体験で宮田醤油の工場に行きたわ。そこでつくられた醤油が学校給食でも使われているのよ。



かぶしがいがみやたましゅうてん 株式会社宮田醤油店 副社長 **佐々木圭介さん**
 水がとともよく、四季を通して温度変化が大きい雫石は、天然醸造にたいへん適した場所です。本醸造の醤油は仕込んでから半年～2年間タンクで寝かせるのですが、温度変化の大きさに、香りもうまみもより強くなるのです。



つち もり 土や森をつくり、さんぎょう 産業をおこす

しんせん きせき こいわいのうじょう 新鮮な奇蹟 小岩井農場

このあたりは、岩手山や秋田駒ヶ岳の噴火による土砂や火山灰でできた酸性でやせた土地です。わき水が多い湿地帯で、冷たい西風が強く吹き、田畑にはできなかつたのです。

1891(明治24)年に開設された小岩井農場では、土を改良し、湿地の水はけをよくして牧場をつくり、防風・防雪のため木を植えて森を育てました。そして、この地に「酪農」という新しい産業をおこしたのです。農場ができて30年ほどたった1922(大正11)年、宮沢賢治は『小岩井農場』という詩の中でこううたっています。

すみやかなすみやかな方法流転のなかに
小岩井のきれいな野はらや牧場の標本が
いかにも確かに継起するといふことが
どんなに新鮮な奇蹟だらう



きれいな牧草地や森があって、たくさん観光客が来る小岩井農場
だけど、農場が開かれたころは一面の荒地だったんだぞお。

この牧場も森も、
100年以上かけてつ
くってきたもの。みん
なの努力を知って
いたから、賢治は『新鮮
な奇蹟』って言うの
ね。



牛のふんを堆肥にするのは、農場の中
にある「株式会社バイオマスパワーしずく
いし」だよ。ふんや給食に使った野菜の
むきくずなどから分けられた液体から
つくったメタンガスで発電もしているんだ。



今では、農場内で育てられた牧草やトウモロコシを主なえさとして牛が育ち、牛乳や乳製品が作られ、牛のふんは堆肥にして牧草やトウモロコシを育てるのに使われます。

牧場や畑を守る防風林の造成は、農場全体の約3分の2をしめる森へと発展しました。農場では森を管理し、木材をつくるほか、人びとに森を体験してもらう自然観察ツアーも行っています。

むかしは農場に200世帯ほどの
人が住み、小学校や病院まで
あったのよ。野沢さんもその
卒業生なんだって。



小岩井農牧株式会社 小岩井農場資料館館長 野沢裕美さん

小岩井農場は、土地を変え、森をつくり、環境を整えることで、田畑にならない場所
「酪農」という新しい産業をおこしました。

その努力はまだ続いています。例えば牧草地も、排水をやめると湿地に逆戻りしてしまうのです。

防風・防雪のための植林は、山林事業になり、環境緑化事業に発展しました。陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園の計画や滝沢市の小諸葛川の水辺緑化などにもたずさわっています。



③ 食

にじ 虹がてらすめぐみ



しずくいしちょう 粟石町の「食」についてしらべてみよう。



しずくいしけ ひと 粟石家の人びと



お父さん



お母さん



お兄ちゃん



わたし



弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちょうきょういく い いんかい 粟石町教育委員会



しずくいしの 美味しい産物



しょうがっこうで「銀河のしずく」の稲刈りをしてきたよ。



きれいな水は稲作に大切だし、涼しいとイネの病気が害虫がでにくいんだ。
粟石のお米はうまいぞお。



しずくいしのお米

きれいな水があり、涼しくさわやかな気候の粟石は、おいしいお米をつくるのにむいている場所です。

町内の耕地面積のうち、およそ3分の2が田んぼで、岩手県のオリジナル品種である「銀河のしずく」や、「あきたこまち」などが育てられています。



しずくいしのおいしさを広める

粟石町では、町内産のおいしくて安全・安心な農産物をみんなに広めるため、町内で完熟した堆肥などによる土づくりで育てられたお米や野菜などを「しずくいし産農産物」として認証し、町内でできたお米や野菜などをみんなに提供する小売店・飲食店・旅館やホテルを「しずくいし産農産物提供店」として認定しています。

左上が粟石産のおいしくて安心なお米を表すマーク、下がしずくいし産の農産物をおつけている店のマークだよ。



ほかにたくさんおいしいものがあるよ。



▶ 粟石町ショートドラマムービー
しずくいし産のあまの秋だよ、粟石。



ま3やかな風味とコクで知られ、岩手県畜産共進会で名誉賞(最高賞)を獲得した粟石牛。でも、町内で育った牛がぜんぶ「粟石牛」を名のれるわけじゃないんだ。



しずくいしぎゅう 粟石牛とは

粟石の豊かな自然の中で、畜産農家が大切に育てた黒毛和牛です。

黒毛和牛は肉牛の中でも肉質が細かく、食感のいい肉がとれる種類で、さらにその中でも牛肉の等級がA4かA5*のもののだけが「粟石牛」として出荷されるのです。

つまり、粟石牛は肉がたくさん取れて、肉質も最高だってことだね。
稲わらや配合飼料と、おいしい水で育てているよ。



*牛肉の等級は「その牛からどのくらい肉が取れるのか」を表すA~Cのアルファベットと、「肉の色つや」「肉の締まりときめ」「脂肪の色つやと質」「サシ(脂肪)の入りかた」を総合的に見た5~1の数字でしめされます。

「しずくいし」と言えば「そば」?

今から100年くらい前まで、たくさんお米はとれませんでした。冷害に強いイネの品種がなかったため、夏の気温が低いとすぐに凶作になりました。

お米は本当に貴重なものでしたから、そのかわりの食べものとして、どこの農家でも「あわ」「ひえ」などの雑穀や、寒さに強い作物である「そば」を育てていました。

今は米づくりがさかんになり、そばの作付けをする農家は少なくなりましたが、粟石のそばのルーツは「貴重なお米のかわりの食べもの」だったのです。

それでそばを食べようになったのかあ。



とは言っても、めんとして「おそば」を食べていたのではなく、そば粉をねってお餅のようにして食べていたんだよ。



しずくいしの

年間行事と伝統食

1月

正月には、長男が年の初めの清らかな水をくみ、ご飯をたいて神様にお供えする「若水とり」、みかんや串柿・鏡餅をお土産にお世話になった方やお嫁さんの実家にあいさつに行く「御年始」「姑礼」や、7日に改めてお餅や干し葉汁をお供えする「七日正月」がありました。

15日の「小正月」にはみずき団子などの「あらね」を飾り、「なり木責め」「夜鳥ほい」で豊作を願い、16日には仏様にお餅を供えて先祖の供養をしました。

と33は「1年間
なめらかにすごす」、
豆類が「まめにすごす」
といういわれから
必ず食べたんだよ。



6月

「さなぶり」は田植え後のお休みで、ぼた餅などごちそうを食べて楽しみました。下旬には馬に感謝し、爪を切って放牧する「馬づくり」、田んぼや人の厄払いである「虫祭り」「疫病祭り」が行われ、へっちょこ団子や山菜、野菜の天ぷらなどを食べました。

【さなぶり】ぼた餅・煮つけ・手打ちそば・鶏肉汁・漬物



8月

墓掃除をすませ仏様を拜む「七日盆」、夏を前に体を休める「七日び」には赤飯がたかれました。13~14日にはお墓参りを、16日には寺参りをし、13日のごちそうは16日に川に流しました。20日の「送り盆」では、かじか入り茄子炒めを食べました。



9月

上旬からは各神社の例大祭が始まり、餅などのごちそうを食べました。「秋彼岸」では彼岸団子やおはぎがつくれ、旧暦の満月「十五夜さん」では家でとれたものや丸いものを供え、お月様を拝みました。3月と同じように中日の「百万遍」では重っこ料理を持ちよって先祖を供養しました。

重っこ料理は、農作業など
みんなが集まって協力すると
き、食べものを持ちよることか
ら始まったんだね。



10月・11月

稲刈りが終わると、刈りあげ餅を食べて祝いました。

「いなり様のはつくにち／なかくにち／すえくにち」で、天ぷらや油揚げをお供えして収穫に感謝し、来年の豊作を祈りました。「おだの神様」では、田んぼの神様に餅とお頭付きの魚が供えられました。子どもが1か月早く年をとったことにする「お太子さん」では、うきうき団子がつくられました。農家の仕事納めである「庭払い（こきあげ）」では、だらくれ餅・手打ちそばなどごちそうが並びました。



【稲刈り】刈りあげ餅
あずきだんご
(小豆団子など)、漬物

12月

【年取り】お供え・白飯・酒・赤魚煮・煮しめ・黒豆・田づくり・ほたての吸い物・年越しそば

「五日えびす・十日えびす」では、えびす様に餅とお頭付きの魚を、「だいく様のお年取り」では、だいく様に団子・煮豆・まっか大根を、「山の神様のお年取り」では、山の神様にどぶろく・だらくれ餅・12個の小さな餅を、「じぞう様のお年取り」ではお地蔵さまに団子と煮豆をお供えしました。

冬至には健康を願って冬至がゆを食べ、すす払いを始める「すすはき」では、はらい餅が食べられました。28日には餅つきをし、31日は「年取り」で家族そろってごちそうを食べました。



【大正月】とろろ飯・黒豆・田づくりごぼう・赤魚煮・柿なます・ぜんまいと豆の煮物・青豆塩煮・お吸い物

きりせんしょは、
農作業のときの
「こびる」にも
ちょうどいいなあ。



2月

「年祝い（二月正月）」には、数え年が男性42歳・61歳、女性33歳を祝って、ごちそうのお膳を神様にお供えしました。節分で煎った大豆をまき、午の日にはいなりパンを持ってお稲荷様で豊作と農作業に使う馬の健康を祈りました（「初馬」「二番馬」「三番馬」）。

【三月節句】節句菓子・きりせんしょ・白酒



3月

女の子の成長を祝う「三月節句」では、きりせんしょを食べました。

「春彼岸」では彼岸団子をお供えし、中日の「百万遍」では重っこ料理を持ちよって先祖を供養しました。「堆肥くばり」は農作業の始まりで、ふきどり餅とそばかけ（からし菜漬け汁）がつきものでした。

4月

「しがつようか」は農作業がいそがしくなる前の休日で、だらくれ餅を食べたりして楽しむ日でした。

【しがつようか】だらくれ餅(小豆・くるみ)



5月

「端午の節句」では、かしわ餅・小豆餅などをつくって男の子の成長を願いました。中旬からは「田うち」「しろかき」「田植え」と農作業がいそがしくなり、朝早くから重労働をするため、重っこ料理を持ちよって1日に5~6回は食べました。

【農作業のとき】赤飯・しんの粕漬け・切り干し大根・みずの酢の物・煮つけ・煮しめ・やだら漬け・たくあん漬け



あたらしとくさんひんじゆんかんがたしやかい 新しい特産品と循環型社会

な しずくいし菜のテクノロジープロジェクト

きれいな菜の
花畑、おいしい
なたね油、でも
それだけじゃな
いんだって。

あたらし かんこうめいしよ
新しい観光名所



あたらし かんこうめいしよ とく
新しい観光名所や特
産品をつくり、障がい
のある人の仕事をつくり、
肥料やバイオ燃料と
して資源を循環させ、
地域を元気にすることを
目指しているんだ。



トラクターなど農業用
機械の燃料

菜の花は、町内の農家組
合で栽培しています。9月に
種をまき、翌年の5月ころ花
が咲きます。

菜の花の種子(な
たね)は、コンバ
インで収穫します。

使い終わった油は
バイオディーゼル燃料の
原料になります。

しほ 絞るかすは肥料に

あたらし とくさんひん
新しい特産品
なたね油「菜の雫」



「菜の雫」は道の駅などで売られ、
さまざまな人やお店が料理に使います。

障がい者通所作業施設「かし和の郷」
では、なたねを絞ってなたね油を取り、
「菜の雫」の製品をつくっています。

道の駅なんかで売ってるねえ。
なたね油はいい香りがして
おいしく、酸化しにくくて健康に
もいいんだよ。

絞ってからていねいに3過が
くりかえされ、おいしいなたね油
になっていくんだよ。

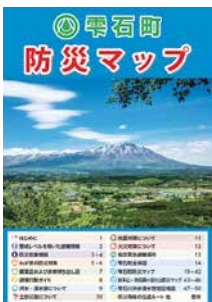


ぼうさい あんぜん あんしん
④防災(安全・安心)

にじ
虹のふもとのまち



み 身のまわりの安全・安心についてかんがえてみよう。



しずくいしけひと 霰石家の人びと



とう お父さん



かあ お母さん



にい お兄ちゃん



わたし



あに 弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちようきよういく いんかい
霰石町教育委員会



そのとき、だれかを助けられるように



岩手山が噴火したら

岩手山は、むかしから何度も噴火をくりかえしている火山です。100年ほど前の噴火では火山灰が10センチメートルも積りました。300年ほど前の噴火ではたくさんの溶岩が流れ出ました。噴火による災害として、このほかに火砕流や火砕サージ、融雪による火山泥流などが考えられます。



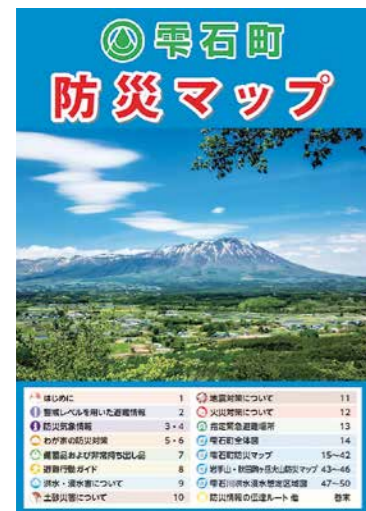
町では国や県、盛岡市、八幡平市、滝沢市と協力して対策を進めているよ。

大きな地震は必ずやってくる

1998（平成10）年に起きた岩手県内陸北部地震では、雫石町長山で震度6弱が観測されました。立っていることが難しく、固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりするゆれの大きさです。地震のときには、ものが「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」ところで命を守りましょう。



この地震の影響で、葛根田深谷の玄武洞（葛根田の大岩屋）がくずれてしまったんだよ。



防災マップを活用しよう

雫石町では、災害で被害が出そうな場所や、災害が起きたときに避難する場所がわかる『雫石町防災マップ』をつくり、すべての家に配っています。お家の人といっしょに見てみましょう。



うちにいちばん近い避難所はどこかな。



おじいちゃんちは大丈夫かなあ。

「雫石町防災マップ」についてはこちら。



雫石町ウェブサイト「雫石町防災マップ」のページ



大雨がふったとき

2013（平成25）年8月9日の平成25年8月秋田・岩手豪雨では、雫石で264ミリ、橋場や春木場では300ミリを超える雨が降り、町内で750軒以上の家が水につかり、がけ崩れなどの土砂災害は100か所以上になりました。

その日の御明神小学校の校門あたりの写真だって。水がすぐそばまで上がってきているね。



防災気象情報はここでチェック。



気象庁ウェブサイト

中学生はこんなことを学んでいる

2021（令和3）年9月9日、雫石中学校の1年生は、避難所の段ボールベッドの組み立て、防災グッズの作り方、避難所の運営や防災食を美味しく食べる工夫を体験し、さまざまな災害とそこで起きる状況を想定し、「そのとき、どう判断するか」を考えて行動するクロスロードゲームに挑戦、防災とボランティアについて学びました。



中学生にも手伝えることはある。「だれかを助けられる人」になれるはずなんだ。



うちのそばではどんな心配があるかなあ。



身のまわりの安全

大きな災害でなくとも、ふだんの生活の中にも危険はひそんでいます。例えば、登下校の道すじで「どんな危険があるか」「どこが危険な場所か」などを調べて、自分なりの「安全マップ」をつくってみましょう。



みんなが組み立てているこの段ボールベッドがあれば、避難所でもゆかや寝なくてすむ。とよりや身体の弱い人は助かるんだ。



わたしたちにできること

家族防災会議をしよう

日ごろのそなえについて、話し合っておこう。



今度歩いて行ってみようよ。

備蓄品や非常持ち出し袋には何が必要だろう？

避難所は公民館かあ。

離れたところにいるら、メールで連絡するね。

災害用伝言ダイヤルも使えるよ。合流場所も決めておこう。

ラジオだらラジオ。テレビやネットは停電で使えなくなるぞ。

防災行政無線にも注意してね。



何が必要かな？

食料や水は1人につき3日分、飲料水は1人につき1日3リットルが必要だよ。



懐中電灯や3うそく、マッチやライターは必要だよ。

紙おむつ、粉ミルク、生理用品などが必要なものもあるわ。保険証・住民票のコピー、印鑑・通帳、現金も持ち出せるようにしておかないと。



水、食料、食器、調理器具など



毛布・カイロなど体を温めるもの、着がえや雨具、ロープ、ヘルメット、ホイッスル、ラジオ、予備バッテリーなど



水タンク、簡易トイレ、トイレ用トペーパー、マスク、体温計、薬、包帯、ばんそうこうなど



「警戒レベル」って何？

町や気象庁からの防災情報は5段階の「警戒レベル」を使って発信されます。

レベル4までに必ず避難！



警戒レベル	状況	情報	わたしたちのとるべき行動
5	災害発生! または切迫	町から緊急安全確保	安全な避難は難しいので、できるだけ安全な場所で命を守る行動をとる。
4	災害のおそれ高い	町から避難指示	全員すみやかに危険な場所から避難。
3	災害のおそれあり	町から高齢者等避難	高齢者や障がい者は避難。浸水や土砂災害の危険がある場合も避難が望ましい。それ以外の人も避難を準備、危険を感じたら自主的に避難。
2	気象状況悪化	気象庁から大雨注意報・洪水注意報	避難場所や経路、避難のタイミングを再確認。
1	今後、気象状況悪化のおそれ	気象庁から早期注意情報	防災気象情報に注意し、災害への心構えを高める。

れきし 歴史と でんとう 伝統

にじ 虹が がつたえるもの



しずくいしけ ひと 雫石家の人びと



お父さん



お母さん



お兄ちゃん



わたし



弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちようきょういく い いんかい
雫石町教育委員会



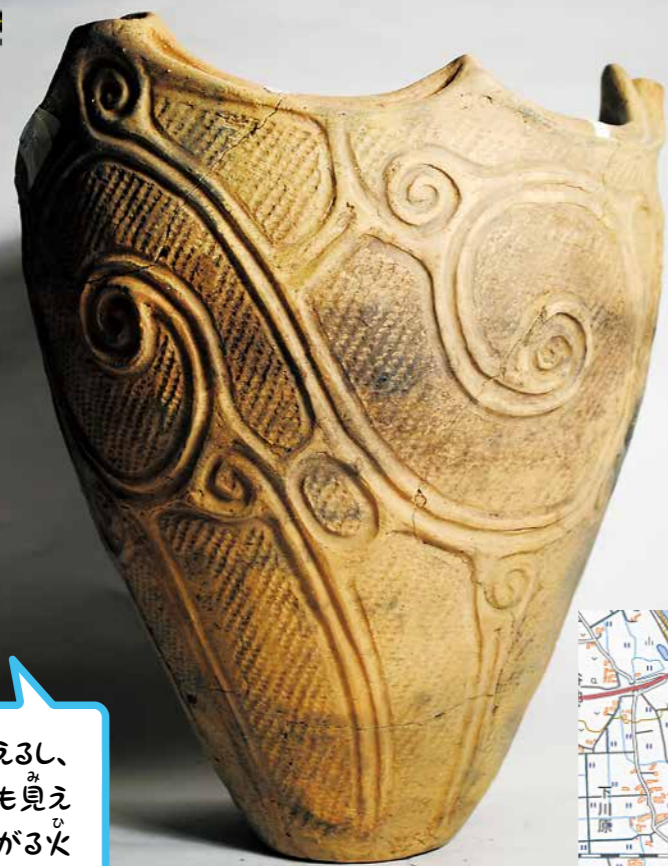
しずくいしの

縄文時代

きれいなもようがついているね。
なんのための入れものなんだろう。

だれが、何のためにつくったのだろう？

～小日谷地IB遺跡出土の伏甕～



町内で発掘された、縄文時代の土器なんだって。



植物にも見えるし、水の流れにも見えるし、もえあがる火にも見えるし……。



小日谷地IB遺跡の場所

この土器は、今から4,500年ほど前、縄文時代につくられたものです。

葛根田川ぞいの小日谷地IB遺跡で見つかりました。むかしの人たちの家の床面よりさらに下に穴をあけて、さかさまにして埋められていたのです。

何を思ってこのふしぎなもようをかいたのか、何のためにさかさまにしていたのか、縄文時代に雫石に住んでいた人たちについては、わからないことが多いのです。



見つかったときのようす

雫石町歴史民俗資料館に行ってみよう。

雫石町ウェブサイト
雫石町歴史民俗資料館のページ



縄文時代にはたくさんの人たちがくらしていた

町内では200か所以上の遺跡が見つかっていて、その約80パーセントが縄文時代のもので、縄文時代の雫石にはたくさんの人たちがくらしていたことがわかります。

左ページの土器や、下の土偶を見るかぎり、そうとうに芸術性の高い人たちがくらしていたにちがいない。



桜沼遺跡から出土した遮光器土偶



でも、縄文時代のすぐ後の弥生時代の遺跡は、町内であまり見つからないんだ。縄文時代にいた人たちは、どこかへ行ったのかな。

争いのあとが見つからないことも、この時代の特徴です。縄文時代のくらは、狩りや漁、木の実や野草の採集で成り立っていましたから、そのころの雫石も豊かな自然やきれいな水にめぐまれていてくらしやすかったのでしょう。

かんがえてみよう
～縄文時代のくらし～

雫石町歴史民俗資料館では、右の写真のように、町内で見つかった遺跡の場所を時代別に見ることができます。

むかしの人たちはどんな場所であらしていたのでしょうか。

今のわたしたちとちがっているのはどこでしょうか。

今のわたしたちとちがっているのはどこでしょうか。



うーん。なんとなく、ならんでいるように見えるね。



今の町とちがっているのはどこかな。



赤い点が縄文時代の遺跡です。

しずくいし まつり 粟石よしゃれ祭

町内最大の夏の伝統行事です。「粟石あねっこ」たちが、濃紺に白いかすり模様の着物に編み笠をかぶった「あねっこ衣装」で手踊りをし、お神輿やさんさ踊りも披露されます。



お神輿

2022(令和4)年夏、3年ぶりに開かれた「粟石よしゃれ祭」では、粟石中学校の生徒たちがよしゃれパレードの先頭をつとめたよ。



しずくいし 粟石よしゃれ



さんさ輪踊り

よしゃれ祭では、さんさパレードも行われるわね。それぞれの地域で大人から子どもへ伝承活動をしているよ。



よしゃれが生まれたのは、粟石城をめぐる戦いのおかげだよ。



ちやうない 町内のさんさ

上長山さんさ踊り、上町さんさ太鼓、天瀬伝統さんさ、元御所さんさ、上駒木のさんさおどりなどがあります。昔は田植えの後の「さなぶり」から送り盆まで毎晩のように踊っていたといひます。



よしゃれのうつりかわり

今から300年以上前、粟石城の水源地を探りだそうとする隠密と、それをかくしておこうとする茶屋の女の人のかげひきから生まれたよしゃれ。江戸時代の終わりから明治時代には、男踊り(男よしゃれ)と女踊りの2つの型があって、お祝いのときなどにお座敷で正装で踊るものになりました。「粟石よしゃれ祭」で踊られているふりつけは、1970(昭和45)年の若手国体のときにつくられたものです。

しずくいしの芸能や工芸

てぬぐいとあみがさ
手ぬぐいと編み笠



てっこう
手甲
手甲や手
ぬぐいには
刺しゅう
を施して
いた。

あねっこ衣装

しずくいしの衣装や町のマスコットキャラクター「しずくちゃん」の衣装に見られる「あねっこ衣装」は、もともと稗石で働く女の人の野良着（作業着）でした。

その郷土的な美しさは日本を代表する美術評論家・宗教哲学者の柳宗悦からも絶賛され、「稗石地域の野良着」として県指定の有形民俗文化財にもなっています。

こし腰り 膝上の辺りまでしかない短い着物。麻と綿のつぎ合わせで、麻の部分にはもようが染めぬかれています。

おび帯 腰りを結ぶ黄色い帯

まえかけ 赤い帯がついたまえかけで、黄色い帯の上に身につける。

もも引 麻布できており、昔は多くの家に麻の畑があったので、麻はよく使われていた。

のらぎしたあせ 野良着の下の「汗はじき」に使っていたのが稗石亀甲織だよ。

しずくいしきっこうおり 稗石亀甲織

しずくいしきっこうおり 稗石亀甲織はたて糸をよこ糸に絡ませながら、六角形の鮮やかなもようを浮かび上がらせる織物です。原料の麻の栽培から糸づくりをして、しずくいしきっこうおりで染め上げ、手織りで織り上げていきます。

昔の人は汗をはじくために野良着の下に身につけ、「汗はじき」と呼んでいました。



やまづみかぐら 山祇神楽は、山祇神社さんの神楽だね。大村地区子ども会で伝承活動をしているよ。



まち 指定している無形民俗文化財

- 葛根田田植踊
- 篠川原剣舞
- 安庭あやつり人形芝居
- 稗石のどどさい節
- 南部稗石茶屋ふくし
- 稗石裸参り
- 山祇神楽
- 西根念仏剣舞
- 上長山角力甚句
- 稗石の男よしゃれ
- 稗石よしゃれ

やまづみかぐら 山祇神楽



しずくいしはだかまい 稗石裸参り



むかしは、よしゃれ・お鑄銭坂・茶屋ふくの三つは、女のたしなみとしてぜひ覚えておくものと言われたのよ。



あにわ 安庭あやつり人形芝居



あにわ 安庭あやつり人形芝居のように、もう見られなくなったものもあるなあ。



しずくいしはだかまい 稗石裸参りでは、年明けからわらを打ち、なわを編み、自分たちの手でつくった「腰みの」「お守り」「横綱」を身につけてお参りするんだ。



ほかにも「稗石町無形文化財芸能祭」では

- 南部稗石お鑄銭坂
- 種まき踊り
- 炭焼き数え歌
- 長持唄
- 上長山さんさ踊り
- 上町さんさ太鼓
- かみこまぎのさんさおどり
- 上駒木野参差踊
- はやし舞（たけのこ舞）
- じんこ踊り
- 田植踊り太鼓
- お鑄銭坂
- 天瀬伝統さんさ
- 亀の子つき唄
- しずくいしかぐら
- 稗石神楽

などが演じられています。

岩手県立稗石高等学校郷土芸能委員会の伝統芸能を見よう。

YouTubeの岩手県立稗石高等学校郷土芸能委員会「上駒木野参差踊」ショートPV



歴史を探りに行ってみよう

雫石（滴石）城跡



こいわい のうじょう くに しゅうようぶん かざい
 小岩井農場に国の重要文化財で
 ある21棟の施設があるのは知って
 いるかな。ほかに、町にはこん
 な身近な史跡があるよ。



「よしやれ」ゆかりの雫石城は、雫石小
 学校から歩いて11分ほどの雫石八幡宮の
 あたりが本丸で、西に二の丸、三の丸と広
 がっていました。今はほとんどが住宅街で
 すが、土塁や堀がのこっています。

上和野馬頭観世音本堂・旧堂（国登録有形文化財）



まが や うま
 曲り家で馬といっ
 しよに生活するほ
 ど、馬は身近なも
 のだったんだよ。



おみょうじんしょうがっこう から車で10分ほどにある上和野馬頭観世音堂は、江戸時代から馬の神様と
 してみんなの心のよりどころでした。ケヤキ造りで、仁王像や彫刻がきれいな本堂（左）と、たくさんの
 絵馬が奉納されている旧堂（右）があります。

雫石街道の一里塚（県指定記念物）

自動車も鉄道もなかったころ、歩いて旅をする人たちの
 ための目印として道ぞいに1里（約3.9キロメートル）ごとに
 一里塚がつくられました。町内には七ツ森小学校から車で
 5分ほどの生森一里塚（上）と、雫石中学校から歩いて13
 分ほどの高前田一里塚（下）がのこされています。

道に関する史跡としては、このほかに長山街道入口の交
 差点に道路指導標が、国見峠には盛岡領境の石標があり
 ます。



もりおか あきた わす げいししかいどう あきた かいどう
 盛岡と秋田を結ぶ雫石街道（秋田街道）
 ぞいにつくられたんだね。

まな ⑥ 学び

に じ 虹をみあげるひと



しずくいし ひと 霰石家のひと



お父さん



お母さん



お兄ちゃん



わたし



弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちようきよういく いんかい 霰石町教育委員会



ち い き あ ゆ 地域と歩む

し ず く い し の ま な しずくいしの学び

な な つ も り し ょ う が っ こ う が く し ゅ う 七ツ森小学校のスキー学習



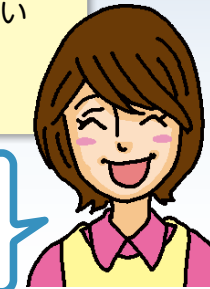
な な つ も り し ょ う が っ こ う が っ こ う う ら や ま
七ツ森小学校では、学校の裏山に「スワンスロー
プ」という広い斜面があります。写真は、そこでス
キー学習をしているところです。みんながのびのびと
すべることができるように、地域の人たちが6月と9
月に草刈りをし、スロープを整備してくれました。



ゆき
雪がふったとき、スノー
モービルで平らになら
してくれるのも地域の
ひと
人たちなんだよ。

に し や ま し ょ う が っ こ う い わ て だ い す 西山小学校の岩手大好きクラブ

に し や ま し ょ う が っ こ う い わ て だ い す
西山小学校では、「岩手大好きクラブ」を
つくって、町内のさまざまな所から「地域の
せんせい ち ゅ う ち
先生」に来てもらい、地区や町のことにつ
て学びました。



スポーツクラブと合同で車いすバスケッ
ボールを体験しているところだよ。



お み ょ う じ ゚ ン し ょ う が っ こ う み ち え き 御明神小学校の道の駅コラボ



みんなが考えた新商品が売
り出されるかもしれないね。

お み ょ う じ ゚ ン し ょ う が っ こ う ち い き き ょ う り ゅ く み ち え き
御明神小学校では、地域と協力して道の駅あ
ねっこを盛り上げるアイデアづくりをしました。写
真は6年生が道の駅にどんな人が来るか、どんな
ものが売られているかを調べているところです。



ご し ょ う が っ こ う え ん ぞ く 御所小学校のふるさと遠足

ご し ょ う が っ こ う が っ こ う とうごう まえ が っ く
御所小学校では、学校が統合する前の学区で
奉仕活動をする「ふるさと遠足」を行いました。
奉仕活動とともに、地域の人たちといっしょに驚
宿温泉ウォークラリーをしたり、そば打ち体験を
したり、地域の昔語りを聞いたりしました。

せんせい し し ら ない よ う な 昔 の 話
先生たちも知らないような昔の話
をしてもらえることもあるんだよ。



し ず く い し ち ゅ う が っ こ う し ず く い く こ う ざ 雫石中学校の食育講座

し ず く い し ち ゅ う が っ こ う ね ん せい ま ち ひ と
雫石中学校では、3年生が町の人たち
の手ほどきでクラスごとに餅つきに挑
戦、地域の伝統文化について学び、ふる
さとの食の恵みを実感しました。

3年生の食育講座「地域の伝統と
行事 振る舞い餅」のようすだよ。



し ず く い し ち ゅ う が っ こ う ち い き た か ら 雫石小学校の地域のお宝マップづくり



し ず く い し ち ゅ う が っ こ う ね ん せい ち
雫石小学校では、4年生が「地
域のお宝」を探して、自分たちだ
けの町のガイドマップをつくりま
した。写真は、町内のさまざま
な場所で地域の人たちの話を聞
いているところです。



学校のまわりを探検
するのね。何がみつ
かるか楽しみね。

し ょ う ち ゅ う が く せい 小中学生のみなさんへ

みなさんを見ていると、地域の人にすごくさえられていると感じます。学校の先生がたも地域
の人からたくさんの協力をいただいています。

私はもともと美術の先生です。先生になったのは、中学生のときの美術の先生の授業がきっかけでした。み
なさん、小中学生のときに会った人やその人から学んだことは、これからの自分にとってとても大事です。

ものすごいエネルギーで成長していくみなさん、みなさんをささえる先生たち、それをささえる親ごさんや
地域の人たち、その全員が「雫石でよかった」と言えるような学校づくりをしていきたいと思っています。



し ず く い し ち ゅ う ぎ ょ う じ かい 教 育 長 佐 藤 嘉 彦 さん
雫石町教育委員会 教育長 佐藤 嘉彦さん



がっこうきゅうしょく 学校給食について

かんが 考えてみよう



ひとつひとつづくりで、おいそう。

自校方式で地産地消



例えば、このカップケーキ

学校でつくっています。

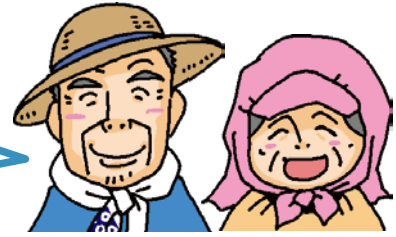


粟石産の甘酒と豆乳が使われています。



生産した人から直接学校にとどんだ。これならできたてで、安心だね。

わしらがつくった野菜も使われているぞ。みんなと同じ気候で、同じ土地で育ったんだから、いちばんおいしい、いちばん身体にいい。



がっこうきゅうしょく 学校給食まめちしきだよ。

献立はどうやって決めているの？

粟石小学校・粟石中学校ではそれぞれの栄養教諭の先生が決めているよ。七ツ森小学校、西山小学校、御所小学校、御明神小学校の場合は、教育委員会の栄養士さんがつくった献立を各校の調理員さんに説明、各学校で調整して決めているんだ。食材は各学校の調理員さんが発注するよ。

人気メニューは？

各学年で意見を聞いてみたところ、いちばん人気があるメニューは「からあげ」だって。「かみかみサラダ」や「納豆あえ」も人気があるよ。

1食にかかるねだんは？

2023(令和5)年度だと、小学校で312円、中学校で392円だね。このうち半額は町が出してくれるんだ。



粟石町の学校給食 ~おいしさのひみつ~

おいしさのひみつは、「自校方式」「地産地消」「調理員さんの腕とくふう」の3つです。

各学校の調理室で調理する「自校方式」なら、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま食べることができますし、調理員さんの顔も見えて安心。授業中においしそうなおいがただよってくると、給食が楽しみになります。

「地産地消」では、さまざまな農家、JA、産直組合などの協力で、とれたての旬の野菜を使わせてもらっています。地元野菜を使うようになって、食べのこしは大幅に減りました。

今、粟石小学校・粟石中学校にはそれぞれ4人、西山小学校には3人、七ツ森小学校、御所小学校、御明神小学校にはそれぞれ2人の「調理員さん」がいます。みんなの給食を用意するために朝7時半から仕事をし、できたてを出すために手順もくふうしてくれています。食中毒を起こすばい菌やウイルスを持ちこまないために、休みの日でもおさしみなどの生ものは食べないようにしている人もいます。

給食の安心・安全のために

●温度管理

右の非接触温度計で、学校に運ばれてきた生鮮食料品がちゃんと10℃以下になっているかどうかをはかっています。左の中心温度計では、調理のときしっかりと火が通っているかどうかを確かめています。



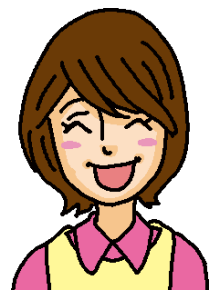
●最終チェック ~検食~

みんなが給食の配ぜんをする前に、校長先生や副校長先生が実際に食べて、おいしさや安全をチェックしています。

●野菜は3度洗いで

とれたての野菜には土がついているのがあたりまえ。3つのシンクで3回流水で洗ってから調理します。食中毒防止のため、くだものやプチトマト以外の食材は必ず加熱します。冷たいサラダであっても、それは蒸したりゆでたりした後で冷やしたものなのです。

例えばキュウリなどは、加熱することで青くさがなくなり、食べやすくなるんだって。



まな 学びを ささえる ひと ひと



スクールバスはどうやって運行しているの？



授業にあわせ、休むことなく運行してくれている人たちがいるよ。

隼石町内には1,000人ほどの小・中学生がいて、そのうち4つの学校の300人ほどがスクールバスで登下校しています。

バスのうち3台は町のもので、あとはバス会社や旅館のバスをお願いしています。スクールバスの運行のために、1年間でおよそ7,000万円がかかります。

授業に使うものを準備するのは？



みんなが使っているタブレットも、準備してくれる人がいるよ。

数が足りないことがないように、家に持って帰っても使えるようにすること、故障してもすぐに直せるようにすることなどを準備しています。



みんなの、学校のあたりまえをささえる



学校もふつうのお家のように、電気代や水道代がかかります。どこかがこわれたら修理しなければなりません。

そのほかにも、町議会で決められた予算の中で、通学路の安全を確保したり、学校に消火器など消防設備をおいたり、学校医さんをお願いしたりなど、みんなの学びをささえているのは、町役場にある教育委員会学校教育課の人たちです。

みんながあたりまえに使っているものは、だれかが準備してくれたものなんだね。



町内の教育についてはこちら。

▶ 隼石町ウェブサイト
教育委員会広報誌「教育しずくいし」のページ



⑦ まちづくり

にじ 虹はつなぐ



しずくいしけひと 雫石家の人びと



お父さん



お母さん



お兄ちゃん



わたし



弟



おじいちゃん



おばあちゃん



しずくいしちようきょういく いんかい 雫石町教育委員会





しずくいしでつながる

4地区の地域づくり

※そのときの状況によって活動内容は変わります。

地区ならではの地域づくり

雫石町では、七ツ森小学区をふくむ雫石・御所・御明神・西山の4地区それぞれに20年後に実現したい地域のすがたをかかげた「地域づくり計画」をつくり、その地区ならではの活動を行っています。

ここでは、今までに行ってきた活動のほんの一部を紹介するよ。



御明神地区 20年後に実現したいすがた 里山と清流のもと人と人が紡ぎ合う理想郷・御明神

春木場駅や赤淵駅、道の駅あねっこがあり、また竜川や田園、多賀神社の姥杉など豊かな自然にめぐまれた地区です。

それら地域の宝とそれを活かした産業や歴史を守り伝えることをめざして、夏まつり盛り上げ隊では、町内唯一の花火大会のある御明神夏まつりにむけて、灯ろうづくりや舟っこの飾りつけなどを、地域の人たちといっしょに行っています。



なんで灯ろうや舟っこを流すんだろ?



お盆にお家に帰ってきた、ご先祖さまや亡くなった人たちを、提灯やお供えで飾った舟にのせて「また来年」と送りだすんだよ。

雫石地区 20年後に実現したいすがた 住む人訪れる人を元気にする町 しずくいし



町役場や商店街、雫石駅、小岩井農場があって、よそから来る人にとっては「町の顔」になる地区です。自分たちの町を楽しむことによって、町の顔として明るいエネルギーを発信することをめざしています。

しずくいし雪灯り&はしご酒は、経木に絵を描いて雪灯りにしたり、協力して準備をしたり、みんなでつくる一大イベントになっています。



経木は、このおにぎりの下にしている、木材を紙のように薄く削ったものだよ。



雪灯りに使ってる「経木」って何なの?

ああ、昔話の本で見たことがあるかも。



雫石の経木は、シナの木(マダの木)でつくられていて、食べ物が傷みにくい。雫石の大事な伝統工芸品だよ。

御所地区 20年後に実現したいすがた 遊びと癒しの都・御所 ~打ちあげよう みんなの夢~

御所湖や鶯宿温泉、ケツパレランドなどのスポーツ施設、歴史民俗資料館などが数多くある地区の魅力が自分たちがくらしの中で楽しみ、おとずれた人にも楽しんでもらえる地域をめざしています。

鶯宿温泉活性化チームでは、イベントでの出張足湯や、いわて雪まつりのサブ会場として雪ゾリ・雪灯りを行い、鶯宿温泉をPRしました。



うゲイスがけがをした足を温泉につけてなおしていたから「鶯宿」なんだよね。



そう。鶯宿温泉が発見されたのは450年ほど前。明治の初めにはもう温泉宿があったそうだよ。

西山地区 20年後に実現したいすがた 岩手山と共に生きる 魅力が満載 ふるさと西山

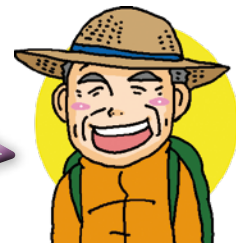
岩手山をはじめ豊かな自然であふれた西山は、地区の人たちやおとずれる人たちにいろいろなめぐみを与えてくれる地区です。その一つひとつが地区の魅力であることを再発見し、町の内外にもその魅力を知ってもらうことをめざしています。

にしやま大運動会実行委員会では、2018(平成30)年の上長山小学校・下長山小学校・西根小学校の統合を機会に、交流の場づくりのため「にしやま大運動会」を開催、ねぎやしいたけなど地域の特産品がバトンがわりの「西山の恵みリレー」など工夫をこらしたプログラムでさまざまな世代が交流を深めました。



岩手山は、雫石のシンボルだよ。

むかしは信仰の対象で、岩手山に登ることそのものが山に祈ることだったんだ。むかしから登山口のあった西山地区は、とくに岩手山との結びつきが深いんだよ。

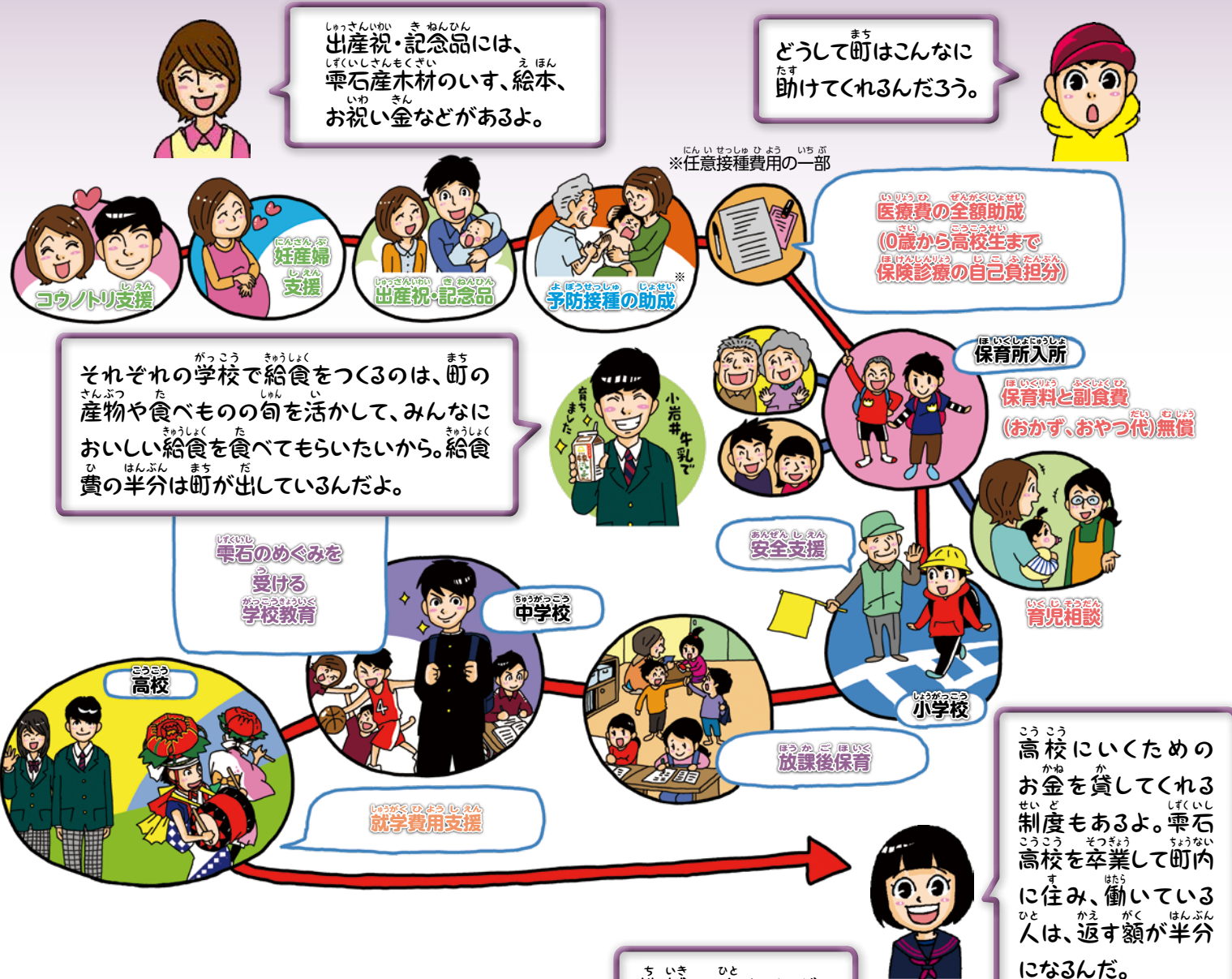


みんなにやさしいまち

しずくいしをつくる

子育てが楽しくなるまち 栗石

さまざまな子育て支援



「おたがいさま」をつなげる

栗石町でも、人口減少・少子高齢化が進んでいます。あと15年もたないうちに、町内の約3分の1が75歳以上の人になると考えられています。

今のうちに「自分でできることは自分でやる(自助)」「できないことや不安なことは家族や隣人に相談する(共助)」ができる地域にしておくことが必要です。

町では、一人ひとりの「おたがいさま」をつなげ、みんなが住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする取り組みを続けています。

地域の人たちが、ふだんの生活の中

でおたがいに見守り合う「ゆるやかな見守り体制」や、災害のときの避難行動支援について話し合っているよ。



おたがいさま情報交換会

コミュニティ・スクールって?

学校(スクール)と保護者や地域の人たち(コミュニティ)が知恵を出し合い、いっしょになって子どもたちの豊かな成長を支えるためのしくみです。例えば、2021(令和3)年9月8日、御所小学校の避難訓練にあわせて行われた消防団操法見学会は、地域の人たち(消防団)と学校がいっしょに企画したコミュニティ・スクールの取り組みの1つです。

学校の先生たちは、子どもたちに消防団の活動を見てもらうことで防災の大切さを考えてもらいたい。



地域の人たちは、子どもたちに消防団について知ってもらい、消防団で活動する人を増やしたい。



子どもたちは、消防団の活動や防災について学べし、放水体験だってできる。いいことづくしだね。



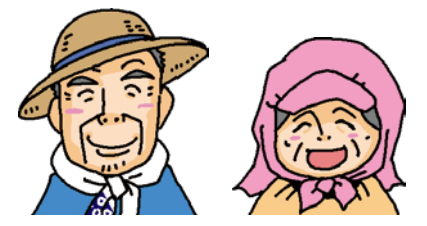
「栗石町保健・福祉ガイドブック」の作成



このガイドブックは、保健や福祉についての困りごとをどこに相談したらいいかすぐに分かるようになっているんだ。



「出産・子育て世代」「はたらく世代」「高齢や介護の必要な人」「障がいのある人」などで項目が分かれているから、分かりやすいねえ。



よりよいまちをつくるために

わたしたちができることは？

よりよい^{しずけいしちやう}栗石町をつかっていくために、たくさん^{ひと}の人たちが^{どりよく}努力しています。

わたしたちにも、何か^{なに}きつとできることがあるはずですよ。

例えば、町内^{たと}の小学生・中学生・高校生がしているこんな活動^{かつどう}は、きつと^{あか}明るい^{みらい}未来につながっているにちがいありません。

ほんの^{ちい}小さなことでいいから、自分^{じぶん}ができることを考えてみよう。



困^{こま}っている人^{ひと}のために



「雪^{ゆき}んこ見^み守^{まも}り隊^{たい}」では、高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}や障^{しょう}がい者^{しゃ}世^せ帯^{たい}などの安^{あん}否^び確認^{かくにん}と雪^{ゆき}かきをやっているよ。ぼくも^{さんか}参加^{ちゅうか}しているし、中^{ちゅう}学^{がく}生^{せい}の子^こたちもいるなあ。



ふるさとをきれいに

げいしちゅうがっこう^{栗石中学校}では、毎年^{まいとし}国^{こく}道^{どう}の清^{せい}掃^{そう}をしているわ。



おみょうじんしょうがっこう^{御明神小学校}の春^{はる}木^き場^ば駅^{えき}清^{せい}掃^{そう}とか、小^{しょう}学^{がく}生^{せい}だつてが^{がんば}らっているよ。



まちを^{ばんき}もりあげたい・元^{げん}氣^きにしたい



オリ^{せい}ンピ^いック^わ聖^い火^わリ^いレー^わの岩^{いわ}手^て県^{けん}内^{ない}出^{しゅつ}発^{ぱつ}式^{しき}は、栗^{げい}石^{しちゅう}中^{がく}学^{がう}校^{がう}が会^{かい}場^{じょう}だつたな。お^おう^{えん}えん^{だん}・チ^ちア^あリー^あダー^だ・吹^{すい}奏^{そう}楽^{がく}部^ぶの^おう^{えん}応援^{えん}がリ^りレー^{れい}を^{もり}あげたんだ。



そう^{けい}い^いば、軽^{けい}ト^とラ^ら市^しで栗^{げい}石^{しちゅう}高^{がう}校^{がう}の生^{せい}徒^とさん^{さん}た^たち^ちが^がお^お茶^{ちや}を^う売^うって^いたわ。友^{ゆう}好^{こう}都^と市^し・静^{しず}岡^{おか}県^{けん}富^ふ士^じ市^しの特^{とく}産^{さん}品^{ひん}ね。



ど^どん^んな^なま^まち^ちに^にし^した^たい^いか、動^{どう}画^がを^みて^{かんが}え^てみ^まい^{よう}。

ユ^ユー^ウチ^チュー^ウブ
▶ You^ユTube^ウの
い^いわ^わて^てけん^んげい^いし^ちやう^{やう}
岩^い手^て県^{けん}栗^り石^し町^{ちやう}チヤ^{ちや}ン^んネ^いル

